

住みやすい「桃太郎のまち岡山」を目指して



岡山市消防局長 東山 幸生

岡山市は、近畿と九州を結ぶ東西軸と、山陰と四国をつなぐ南北軸のクロスポイントに位置し、広域高速道路網、航空網、東西南北に広がる鉄道網など、優れた交通の広域拠点性を有し、瀬戸内特有の温暖な気候に恵まれた「晴れの国」であり、自然災害の少ない都市として全国的に認知されています。また、恵まれた気候風土と豊かな自然の中で、ブランドとなっている白桃、マスクット、ピオーネをはじめ、千両なす、黄ニラなどの多彩な農産物が生産される農業都市であるとともに、日本三名園の岡山後楽園、岡山城や「桃太郎伝説」が宿る歴史スポットなどを有する観光都市でもあります。

さて、本市では平成21年4月の政令指定都市移行に合わせて、「岡山市都市ビジョン新・岡山市総合計画」を策定し、これに基づき着実にまちづくりを進めてきておりましたが、さらなる発展を実現するため「第六次岡山市総合計画」を策定し、住みやすさに一層の磨きをかけるとともに、未来志向の躍動感のあるまちづくりを市民と行政が協働して進めることにより、まちの変化を創出し、まちの活力、市民の岡山への愛着と誇りを高めることを目指しています。

当局においても、市政の将来像をデザインしていくための中長期的な展望に立ち、今後の指針を示す「消防局総合計画」を策定し、人と地域に行き渡る消防サービス、市民が安全・安心を実感して暮らすためのサポート、あらゆる災害に備えるシステムづくりを基本方針として、地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくりに取り組んでいるところです。

市民・地域との連携を図る事業として、昨年度から地域コミュニティと連携した消防職・団員の戸別訪問による住宅用火災警報器の普及啓発を実施し、住宅火災の被害軽減に努めているほか、増え続ける救急需要に対する予防救急の啓発として、路線バス等へのポスター掲示や高齢者福祉施設等での音楽隊コンサートを実施しています。今年度は、女性団員用の軽量ポンプ等を5地区に配備することにより、地域防火体制強化と女性団員活動の充実を図ることとしています。

また、常備・非常備の基盤整備に係る事業として、119番通報時における多言語通訳体制の確立、新型の高性能防火衣導入をはじめ、消防団機庫整備、消防署所の適正配置、車両更新などの総合消防力の充実強化にも取り組んでまいります。

私どもは、消防の使命達成を一貫して追求するため、「基本に忠実」であることを前提としながら、刻々と変化する時代の潮流に適応してまいりたいと考えております。近年の地震や大型化する台風、頻発する集中豪雨等により、市民の安全・安心に対する意識は高まっており、住みやすい「桃太郎のまち岡山」を目指し、今後とも地域防災力の強化と消防救急体制の充実に向けた事業に全力で取り組んでまいります。